

【平成16年度専修学校先進的教育研究開発事業】

事業名	看護師養成所2年課程（通信制）における安全教育のe-ラーニング対話型シミュレーション教材に関する研究		
学校法人名	学校法人 後藤学園		
学校名	東京衛生学園専門学校		
代表者	理事長 後藤修司	担当者・連絡先	東京衛生学園専門学校 看護学科 ビーエ弓子 03-3763-6621

事業の概要

看護師養成所2年課程（通信制）の教育が平成16年4月から開始された。看護教育における通信教育は初めてであり、その入学資格は、10年の業務経験のある准看護師としている。

今回われわれは看護師養成所2年課程（通信制）のカリキュラムで有効と思われるe-ラーニング教材の開発を行った。そのテーマとして医療事故防止に有効な転倒防止・静脈注射を選んだ。まず、看護基礎教育修了時に必要な安全管理能力を検討し、標準的な到達基準を設定した。次に職務経験10年以上の准看護師が持つ安全管理能力、および職務経験10年以上の准看護師のもつメディア・リテラシーに関して実態調査をおこなった。

その結果を踏まえて、e-ラーニングを使って転倒・誤薬の危険のある状況を設定し、危険回避を選択できる対話型教材を作成した。作成した教材を准看護師の資格を持つ学生に試行し、その効果と課題を検討した。

成果

実態調査は全国7地域に5500部配布し、1651名の有効サンプルを得た。その結果、准看護婦のパソコン使用率は60.6%であり他の職種と比べても低くなく、e-ラーニングの有効性が示唆された。一方、准看護師の危機感知能力の自己評価は、大きな2つのカテゴリー(大項目「転倒防止」と「静脈注射」)に付随する中項目でみると准看護師の理解度・実践度は高いとは言い難いく、重点的な教育が必要と考える。上記の特徴を基にインターネットベースのe-ラーニングソフト開発を行い、「転倒防止」と「静脈注射」2つのコンテンツを作成した。

このe-ラーニングを准看護師の資格を持つ学生に試行した結果、58%の学生が今後も受講したいと答えている。看護師養成所2年課程（通信制）の全学生にe-ラーニングを適用することは難しいが、学習方法の有効な手段であることは確かめられた。この成果は平成17年3月18日に成果報告会で発表され、全国の看護師養成所2年課程に配布した。